（別紙）

現地で取材する際の配慮事項

- コウモリ類の保護の観点から、「コウモリボックス」の位置情報等の公表は控えていただくようお願いします。

- 野生生物を扱う作業のため、予定時間どおりとならないことがあるかもしれませんが、予めご了承願います。

- コウモリボックス内の門扉より奥の放獣箇所には入場可能としますが、門扉の開閉はすばやく実施する必要がありますので、職員の指示に従っていただきますようにお願いします。また、人数によっては何回かに分けて入場いただくことになりますのでご了承願います。

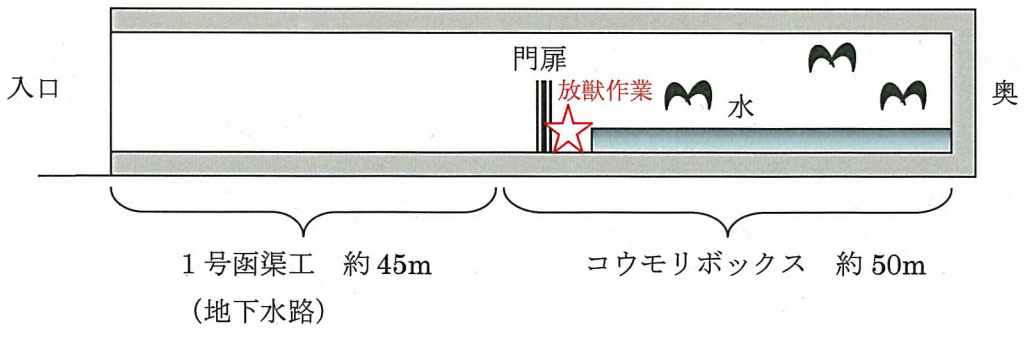
- コウモリボックス内の門扉より奥の放獣箇所でのカメラ撮影は、フラッシュ音を静かにお願いします。また、コウモリへの影響があるため、強力ライトでのカメラ撮影は必要最小限に抑えるようお願いします。

- 移転元にあたる目屋ダム仮排水トンネル内部の取材は、コウモリ類が覚醒・攪乱する可能性があるため、また、同仮排水トンネル坑口の取材についても、重機が往来しており危険ですので取材を禁止とさせていただきます。

- コウモリ放獣作業終了後に現地にて、津軽ダム工事事務所、コウモリ専門家向山満先生による記者会見を予定します。ただし、作業状況によっては開始時間が遅れることが予想されますので、あらかじめご了承願います。

- 現地でヘルメットは貸与可能ですが、防寒具、長靴等は各社用意して下さい。

移転先イメージ



-